

## 麻酔の合併症について

採卵や処置の際、局所麻酔や静脈麻酔を実施することがあります。麻酔の副作用や合併症を完全に防止する方法はなく、使用する際は十分に注意を払います。以下に、代表的な副作用を示します

- 局所麻酔の副作用：徐脈、不整脈、血圧低下、呼吸抑制、チアノーゼ、意識障害等を生じ、まれに心停止を来すことがあります。また、意識障害、振戦、痙攣等の中毒症状があらわれることがあります。このような症状があらわれた場合には、直ちに投与を中止し、処置を行います。注射針を刺入した際に、神経に触れることにより一過性の異常感覚を認めることがあります。また、神経が注射針や薬剤あるいは虚血によって障害を受けると、まれに持続的な異常感覚、疼痛、知覚障害、運動障害等があらわれることがあります。
- 静脈麻酔の副作用：麻酔薬使用中は血液中の酸素濃度をモニターし呼吸管理を行います。呼吸抑制や呼吸筋の筋力低下により、舌根沈下や喉頭痙攣により気道閉塞・呼吸停止が起こることがあり、体位変換や酸素投与、マスク換気を行うことがあります。麻酔薬によって、血圧下降・上昇や脈拍数の減少・上昇、不整脈などが起こることがあります。多くは経過観察で問題ありませんが、急激な変化がみられる場合には慎重に投与を行います。
- 悪性高熱：まれに原因不明の頻脈・不整脈・血圧変動、急激な体温上昇、筋強直、血液の暗赤色化（チアノーゼ）、過呼吸、発汗、アシドーシス、高カリウム血症、ミオグロビン尿（ポートワイン色尿）等を伴う重篤な悪性高熱があらわれることがあります。本剤を投与中、悪性高熱に伴うこれらの症状を認めた場合は、直ちに投与を中止します。
- アナフィラキシーショック：重篤なアレルギー反応により、呼吸困難や気管支痙攣などの呼吸器系症状、血圧の低下、失神、全身的な蕁麻疹、口唇・舌の浮腫、痙攣などを生じます。疑った場合、気道の確保、呼吸・循環管理を行い、アドレナリン・ステロイド・抗ヒスタミンなどの投与とともに補液を行い、改善を図ります。すべての麻酔薬で起こる可能性があり、投与後は状態を綿密に観察します。



〒541-0051

大阪府大阪市中央区備後町4丁目1-3

御堂筋三井ビルディング 1階

TEL 06-6201-0317

<https://www.nishikawa.or.jp/>

- 薬剤に特徴的な副作用に下記があります。  
ミダゾラム：呼吸抑制、循環抑制、健忘、運動機能・強調運動障害、神経過敏など。  
プロポフォール：血管痛、徐脈、呼吸抑制、循環抑制、てんかん様体動、不全収縮、心室頻拍、肺水腫、悪性高熱類似症状など

施設責任者 西川吉伸